

政策シート

(政策名) 超高齢社会への対応

(予算費目名) 老人福祉費

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	3,302,715	3,272,738
決算	3,425,335	
人件費(A)	69,440	77,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,494,775	3,349,738

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
健康寿命の延伸 ※厚生労働省 発表 健康寿命	歳	男74以上女77以上	目標 実績	男74 女77 —	男74 女77
			目標 実績		
			目標 実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

第7次浜松市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27~29年度)の初年度として、計画に掲げた政策及び重点施策を着実に推進することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業					13,423	5,023	1.2				
2	高齢者施設運営事業					349,175	342,175	1.0				
3	軽費老人ホーム運営事業					547,679	545,579	0.3				
4	敬老支援事業					283,390	274,290	1.1				0.5
5	シニアクラブ支援事業					65,657	61,177	0.6				0.1
6	高齢者居場所づくり助成事業(補助金)				○							
7	高齢者社会参加促進事業					397,015	388,195	1.1				0.4
8	高齢者生活支援事業					33,471	30,391	0.2				0.6
9	高齢者生活支援ハウス事業					37,548	36,848	0.1				
10	シルバーサポート事業				○							
11	認知症施策推進事業	○	○	○		25,313	12,993	1.2				1.4
12	外国人高齢者福祉手当支給事業					3,736	3,036	0.1				
13	ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)					16,463	15,063	0.2				
14	養護老人ホーム入所事業					966,850	965,450	0.2				
15	老人福祉施設支援事業					23,536	21,436	0.3				
16	老人福祉施設整備費助成事業(補助金)	○	○	○		378,100	369,000	1.3				
17	老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)					19,158	18,458	0.1				
18	高齢者住宅改造助成事業(補助金)					20,700	20,000	0.1				
19	低所得者高齢者等住まい・生活支援モデル事業					5,806	5,106	0.1				
20	番号制度対応・システム再構築事業					158,400	155,600	0.4				
21	高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)					4,318	2,918	0.2				
22												
23												
24												
25												
計						3,349,738	3,272,738	9.8				3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業

◇事業目的・事業対象

老人福祉法に基づく高齢者保健福祉計画及び介護保険法に基づく介護保険事業計画を「はままつ友愛の高齢者プラン」として一体的に策定し、高齢者保健福祉施策を推進する。

◇事業の概要

平成26年度に策定した第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27～29年度)の進捗を管理する。
 平成28年度は、計画策定のための基礎資料とするため実態調査(アンケート調査)を実施する。
 平成29年度は、次期「はままつ友愛の高齢者プラン」(平成30年度～32年度)を策定する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5	—	一般会計	法定受託事務	老人福祉法、介護保険法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		5,023
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		5,023
	一般財源		
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		5,600	8,400
人工	正規	0.8	1.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
健康寿命の延伸(歳)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	男74・女77	男74・女77			男74以上・女77以上
実績値	—				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

平成26年度に策定した第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27～29年度)の進捗を管理する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成26年度に策定した第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27～29年度)の進捗を管理した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成27年度は計画の進捗管理のみで、具体的な事業は実施していない。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成28年度は次期計画策定にあたり、施策の主な対象者となる高齢者の生活状況や介護保険サービスに対する意向等を把握し、施策の方向性や内容を決定付ける基礎資料を得る必要があるため、実態調査(アンケート調査)を行う。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 高齢者施設運営事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の心身の健康維持・増進を図るため、地域の高齢者の生きがい活動の拠点として、老人福祉法等に定める「老人福祉センター」、「介護予防拠点施設」等を設置し運営する。

◇事業の概要

【老人福祉センター】12施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
 湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、
 舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘
 【介護予防拠点施設】2施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
 舞阪シニアプラザ陽だまり、水窪高齢者交流センター
 【その他】
 施設整備事業、施設用地管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	老人福祉法、浜松市老人福祉センター条例等	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	360,102	342,175
	決算	353,849	
	国・県支出		
	市債		
	その他	23,187	27,923
	一般財源	330,662	314,252
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		5,600	7,000
人工	正規	0.8	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
利用者数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	473,000	477,000			516,000
実績値	478,364				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【老人福祉センター】12施設 主な事業内容:高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、
舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘

【介護予防拠点施設】3施設 主な事業内容:高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、水窪高齢者交流センター

【その他】
施設整備事業、施設用地管理事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

地域の高齢者の生きがい活動の拠点として、老人福祉法等に定めによる「老人福祉センター」、「介護予防拠点施設」を管理運営した。

【老人福祉センター】12施設 主な事業内容:高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、
舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘

【介護予防拠点施設】3施設 主な事業内容:高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、水窪高齢者交流センター

【その他】
施設整備事業、施設用地管理事業

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設の老朽化や使用実態等から施設の再配置を進め、平成27年度から「天竜老人憩の家やまゆり荘」を移転・統合、「天竜老人憩の家せきれい荘」を廃止、「佐久間高齢者生きがいセンター」「水窪高齢者生きがいセンター」「龍山老人福祉センター」「龍山介護予防拠点施設雲折桜の家」の管理主体を変更した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成28年度から、主として元気はつらつ教室実施場所として使用している「細江介護予防センター」「浜北生きがいデイサービスセンター」について、目的を有する施設(市介護予防事業実施場所)として適切な管理を行うため、施設の位置づけを見直し、公の施設から公用財産(行政財産)とする。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 軽費老人ホーム運営事業

◇事業目的・事業対象

低額な料金で家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者を入所させ、日常生活上必要な便宜を供与し、高齢者が健康で明るい生活を送れるようにすることを目的とする。

◇事業の概要

<佐鳴荘管理運営費>

浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘を設置運営する。

指定管理者: 社会福祉法人三幸会

定員: 50名

<民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)>

軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助する。

施設数: 15

定員: 748名

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立軽費老人ホーム条例、軽費老人ホーム入所者負	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	545,660	545,579
	決算	534,816	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	534,816	545,579
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
助成対象者数(人)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	798	798			798
実績値	773				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

<佐鳴荘管理運営費>
浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘を設置運営する。
指定管理者:社会福祉法人三幸会
定員:50名
<民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)>
軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助する。
施設数:15
定員:748名

・事業の成果と課題

指標の達成度

<佐鳴荘管理運営費>
浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘を設置運営した。
指定管理者:社会福祉法人三幸会
定員:50名
<民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)>
軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助した。
施設数:15
定員:748名

・事業の改善と見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工
浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘を平成29年度に民営化する。
今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工
浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘は、平成28年度をもって廃止し、平成29年度から民営化する予定である。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 敬老支援事業

◇事業目的・事業対象

長寿を祝い敬老思想の高揚を図るとともに、高齢者の社会参加の推進、健康福祉の増進を図る。

◇事業の概要

- 敬老祝金品贈呈事業
 長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈する。
 - 敬老祝金
 年度内88歳到達者(10,000円)、年度内99歳到達者(30,000円)
 - 敬老祝品
 年度内88歳到達者(菓子器・市長寿詞)、年度内100歳到達者(煎茶・額入り市長寿詞)
- 敬老会等開催費補助金交付事業
 敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S43	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市敬老会等開催費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	253,799	274,290
	決算	252,705	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	252,705	274,290
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		9,100	9,100
人工	正規	1.1	1.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
敬老会出席率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	40	40			50
実績値	35.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

1. 敬老祝金品贈呈事業

長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈する。

(1) 敬老祝金

年度内88歳到達者(10,000円)、年度内99歳到達者(30,000円)

(2) 敬老祝品

年度内88歳到達者(菓子器・市長寿詞)、年度内100歳到達者(煎茶・額入り市長寿詞)

2. 敬老会等開催費補助金交付事業

敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

1. 敬老祝金品贈呈事業

長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈した。

(1) 敬老祝金

年度内88歳到達者(10,000円)、年度内99歳到達者(30,000円)

(2) 敬老祝品

年度内88歳到達者(菓子器・市長寿詞)、年度内100歳到達者(煎茶・額入り市長寿詞)

2. 敬老会等開催費補助金交付事業

敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成27年度に、敬老祝金の引き下げ(88歳:30,000円 → 10,000円、99歳:50,000円 → 30,000円)、祝品の廃止(101歳以上:5,000円相当の品物 → 廃止)を行った。

・事業の概要、依頼内容、時期、流れ等を一冊にまとめた「敬老支援事業の手引き」を作成し、事業の実施にあたり分かりやすいマニュアル化を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

敬老会開催費補助金の見直しについて、平成26～27年度にかけて、主催者である自治会連合会と協議を行った結果、平成28年度からの見直しは見送ることとなった。このため、本件については今後の事業のあり方を自治会連合会と継続協議する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) シニアクラブ支援事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動・事業を展開し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与するシニアクラブ(老人クラブ)について、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、その活動の実施及び推進を支援する。

◇事業の概要

シニアクラブ活動の支援を行う。

1. シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
 高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付する。
2. 単位老人クラブに対する活動支援
 - (1) 活動費の助成
 - (2) 高齢者の作品展開催事業
 高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいづくりの推進を図るため、作品展を開催する。
3. シルバーサポート事業(平成28年度から事業統合)
 - (1) シルバーサポーターの派遣
 シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織にシルバーサポーターの派遣を行う。
 - (2) シルバーサポーター養成講座の開催
 - (3) シルバーサポーターフォローアップ講座の開催

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市老人クラブ活動費補助金交付要綱等	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	59,805	61,177
	決算	57,705	
	国・県支出	19,625	19,604
	市債		
	その他		
	一般財源	38,080	41,573
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		4,200	4,480
人工	正規	0.6	0.6
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
老人クラブ加入者率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	10	10			10
実績値	9.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
シルバーサポーター派遣回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	155	160			185
実績値	136				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

シニアクラブ活動の支援を行う。

1. シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付する。
2. 単位老人クラブに対する活動支援
 - (1) 活動費の助成
 - (2) 高齢者の作品展開催事業
高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいをづくりの推進を図るため、作品展を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

シニアクラブ活動の支援を行った。

1. シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付した。
2. 単位老人クラブに対する活動支援
 - (1) 活動費の助成
 - (2) 高齢者の作品展開催事業
高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいをづくりの推進を図るため、作品展を開催した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市は単位クラブへの活動費支援の弾力的な運用やシルバーサポーターの派遣などにより、その活動を支援した。また、市老連役員との定期的な会合をはじめ、区役所における活動相談への対応や申請書類のアドバイスなどを通し、連携・サポートに努めている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成28年度にシルバーサポート事業を統合し、事務の効率化を図る。
- ・単位老人クラブ数・会員数が減少傾向にあることが大きな課題であり、市として活動の支援のあり方を調査・研究していく。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 高齢者居場所づくり助成事業(補助金) **【完了】**

◇事業目的・事業対象

高齢者が住み慣れた地域で仲間とともに活動する場の拠点となる集会所を利用しやすくすることにより、高齢者の社会参加の促進、生きがいづくりを図る。

◇事業の概要

既存施設の集会所の集会室、トイレ、洗面所、台所、出入口その他の設備を、高齢者が安心して利用できるようユニバーサルデザイン化改修をする必要があると認められる場合、当該改修経費について補助を行う。

- ・補助対象者 自治会、町内会
- ・補助率 2分の1以内
- ・補助金額 上限額25万円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	H27	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者居場所づくり支援事業費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	4,500	
	決算	3,764	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	3,764	
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		1,400	
人工	正規	0.2	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
助成施設数(か所)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	18				
実績値	22				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

既存施設の集会所の集会室、トイレ、洗面所、台所、出入口その他の設備を、高齢者が安心して利用できるようユニバーサルデザイン化改修をする必要があると認められる場合、当該改修経費について補助を行う。

- ・補助対象者 自治会、町内会
- ・補助率 2分の1以内
- ・補助金額 上限額25万円

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

既存施設の集会所の集会室、トイレ、洗面所、台所、出入口その他の設備を、高齢者が安心して利用できるようユニバーサルデザイン化改修をする必要があると認められる場合、当該改修経費について補助を行った。

- ・補助対象者 自治会、町内会
- ・補助率 2分の1以内
- ・補助金額 上限額25万円

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 終了 小項目 / 事業費 人工

本事業では、3年間で54件(18件×3年)の施設整備に対する補助を行い、旧高齢者集会施設ユニバーサルデザイン化助成事業において補助を行った施設と合わせて、市内集会施設738施設(1自治会1施設として計算)の概ね3分の1を整備することを目標値とした結果、平成27年度で248件、33.6%と目標を達成したため、事業を終了する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 補助・助成

細分類 補助・助成(公益団体)

事業シート (事業名) 高齢者社会参加促進事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の社会参加を促進し、福祉の増進を図るため、社会参加助成券を交付する。
 <交付対象者> … 次の要件をすべて満たす人
 ・年度内70歳以上到達者 ・交付年度の前々年度の所得金額が200万円未満
 ・交付年度の4月1日から交付申請時まで継続して市内に住所を有している

◇事業の概要

高齢者に対して以下の社会参加助成券の中から年度内にいずれかひとつを交付する。
 <<券の種類>>
 1. 遠鉄バス・電車共通カード(ナイスパス)
 2. タクシー利用券
 3. 天竜浜名湖鉄道乗車券
 4. 鍼灸マッサージ券
 5. 地域バス乗車券
 6. 秋葉バスカード
 7. ガソリン券(北区の一部・天竜区の一部)
 <<交付金額>>
 4,000円分(秋葉バスカードは3,300円分)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	H28	一般会計	自治事務(その他)	高齢者等に交付する社会参加助成券に関する規則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	365,791	388,195
	決算	363,240	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	363,240	388,195
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		8,400	8,820
人工	正規	1.0	1.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.5	0.4

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
交付率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100	100			
実績値	93.6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

高齢者に対して以下の社会参加助成券の中から年度内にいずれかひとつを交付する。

《券の種類》

1. 遠鉄バス・電車共通カード(ナイスパス)
2. タクシー利用券
3. 天竜浜名湖鉄道乗車券
4. 鍼灸マッサージ券
5. 地域バス乗車券
6. 秋葉バスカード
7. ガソリン券(北区の一部・天竜区の一部)

《交付金額》

4,000円分(秋葉バスカードは3,300円分)

・事業の成果と課題

指標の達成度

高齢者に対して以下の社会参加助成券の中から年度内にいずれかひとつを交付した。

《券の種類》

1. 遠鉄バス・電車共通カード(ナイスパス)
2. タクシー利用券
3. 天竜浜名湖鉄道乗車券
4. 鍼灸マッサージ券
5. 地域バス乗車券
6. 秋葉バスカード
7. ガソリン券(北区の一部・天竜区の一部)

《交付金額》

4,000円分(秋葉バスカードは3,300円分)

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成26年度の交付金額の引き下げ△2,000円分(6,000円分 → 4,000円分)を行ったため、平成27年度は引き続き扶助費の削減を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

高齢者の社会参加を目的とした本事業は平成28年度をもって廃止する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 高齢者生活支援事業

◇事業目的・事業対象

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等に対して、日常生活上のサービスを行うことにより、自立した生活を支援する。

◇事業の概要

- ① 高齢者配食サービス事業
 - ・ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行う。
- ② 日常生活上の軽度援助事業
 - ・簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S50	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者地域支援事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	31,113	30,391
	決算	26,577	
	国・県支出		
	市債		
	その他	654	867
	一般財源	25,923	29,524
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,940	3,080
人工	正規	0.3	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.3	0.6

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
配食サービス延利用食数(食)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	81,500	83,100			87,100
実績値	72830				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
軽度生活援助員延派遣回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1,325	1,350			1,625
実績値	1211				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
軽度生活援助員延派遣回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
軽度生活援助員延派遣回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①高齢者配食サービス事業
・ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行う。
- ②日常生活上の軽度援助事業
・簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①高齢者配食サービス事業
・ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行った。
- ②日常生活上の軽度援助事業
・簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 縮小 人工 現状

- ①高齢者配食サービス事業は、外部評価において、公平性の観点から受益者負担の見直しが必要と指摘があったため、平成25年7月から事業者ごとに異なる委託料単価から配達地域ごとの委託料単価に見直しを図った。
- ②日常生活上の軽度援助事業は、平成25年度に手数料を引き上げる見直しを行い、平成26年度には利用時間上限の設定をし、家事援助サービスを行っている地区社協等の活動の妨げとならないように改善した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 受益者負担 事業費 縮小 人工 現状

- ①高齢者配食サービス事業は、中山間地域では委託料単価を上げても民間事業者の参入は見込まれないことから、中山間地域での配達に限定したボランティアを導入するなど検討を行う。
- ②日常生活上の軽度援助事業は、介護保険のサービスや生活管理指導員派遣事業の対象とならない、軽易で一時的な身体介助を伴わない日常生活援助を行うものであるが、新総合事業の導入により事業のあり方について検討する。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 安心・安全

事業シート (事業名) 高齢者生活支援ハウス事業

◇事業目的・事業対象

高齢者に対して、介護支援、住居及び交流機会を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

◇事業の概要

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)
 定員 51名
 市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H15	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市生活支援ハウス運営事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	36,836	36,848
	決算	35,086	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	35,086	36,848
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
利用定員(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	51	51			51
実績値	51				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
利用率(実利用日数÷(定員×年間日数))(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	50	50			50
実績値	53.4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)

定員 51名

市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)

定員 51名

市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目

小項目

/

事業費

人工

利用実績は定員の5割程度(あんしんの里は9割)であるが、ひとり暮らし高齢者が独立して生活することが困難となった場合など事業を継続する必要がある。

今後の方向性

大項目

小項目

/

事業費

人工

他施設の転換や他事業(高齢者あんしん一時宿泊事業)との整合も検討する必要があり、今後の利用状況を踏まえ、事業のあり方について検討を行う。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) シルバーサポート事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

シルバーサポーターの派遣・養成により、シニアクラブの活動の活性化を図る。

◇事業の概要

- ①シルバーサポーターの派遣
シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織に、シルバーサポーターの派遣を行う。
活動内容:シルバーサポーターが訪問し、体操やゲーム、手芸、歌などのレクリエーション活動を行い、組織の活性化を図る。
 - ②シルバーサポーター養成講座の開催
高齢者のグループに対して体操、ゲーム、趣味活動などの指導をすることができる市民を対象として養成講座を開催する。また、養成講座修了者に対してシルバーサポーター登録を勧める。
 - ③シルバーサポーターフォローアップ講座の開催
現在すでに活動しているシルバーサポーターのレベルアップを図るための講座を開催する。
- ※平成28年度より「シニアクラブ支援事業」に統合

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,562	
	決算	1,466	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	1,466	
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		1,400	
人工	正規	0.2	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
シルバーサポーター派遣回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	155				185
実績値	136				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①シルバーサポーターの派遣

シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織に、シルバーサポーターの派遣を行う。

活動内容:シルバーサポーターが訪問し、体操やゲーム、手芸、歌などのレクリエーション活動を行い、組織の活性化を図る。

②シルバーサポーター養成講座の開催

高齢者のグループに対して体操、ゲーム、趣味活動などの指導をすることができる市民を対象として養成講座を開催する。また、養成講座修了者に対してシルバーサポーター登録を勧める。

③シルバーサポーターフォローアップ講座の開催

現在すでに活動しているシルバーサポーターのレベルアップを図るための講座を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

①シルバーサポーターの派遣

シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織に、シルバーサポーターの派遣を行った。

②シルバーサポーター養成講座の開催

高齢者のグループに対して体操、ゲーム、趣味活動などの指導をすることができる市民を対象として養成講座を開催した。また、養成講座修了者に対してシルバーサポーター登録を勧めた。

③シルバーサポーターフォローアップ講座の開催

現在すでに活動しているシルバーサポーターのレベルアップを図るための講座を開催した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成28年度に本事業をシニアクラブ支援事業に統合し、事務の効率化を図る。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 認知症施策推進事業

◇事業目的・事業対象

認知症に対する理解を深める広報・啓発とともに、認知症の高齢者が地域の中で生活するための支援者を養成することで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進める。また、認知症高齢者に対する早期発見・早期治療を図るとともに、地域で認知症の人を支えるための支援体制の充実・強化を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.43】

- (1) 予防(重度化防止) ※認知症対策モデル検証は平成28年度から介護保険事業特別会計として実施
 - ・認知症自己チェックリストの作成(認知症の早期発見、早期受診を目的とした自己チェックリストを作成し配付)
- (2) 早期発見・早期治療
 - ・認知症ケアパスの作成(認知症のステージにあわせて利用できる地域の社会資源(ケアパス)を作成し配付)
 - ・認知症疾患医療センターの運営支援(鑑別診断、急性期治療等を実施する医療機関の指定と助成)
 - ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成(連携の推進役のサポート医、患者を診療するかかりつけ医を養成)
- (3) 本人・家族支援
 - ・キャラバン・メイトの養成・活動支援(認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトを養成)
 - ・認知症サポーターの養成(認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーター等を養成)
- (4) 普及・啓発
 - ・認知症に関する講演会の開催や認知症に関する啓発パンフレット等作成

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	15,503	12,993
	決算	13,537	
	国・県支出	6,010	6,280
	市債		
	その他		
	一般財源	7,527	6,713
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		9,100	12,320
人工	正規	1.1	1.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.5	1.4

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
認知症サポーター養成人数・単年度(人)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	3,500	3,500			3,500
実績値	4,647				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
認知症サポート医養成累計人数(人)				—	43
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	26	34	40以上		75以上
実績値	27				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
認知症チェックリストの配布数・単年度(人)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	66,000	67,000			75,000
実績値	10,000				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.43】

(1) 予防(重度化防止)

- ・認知症対策モデル検証(認知症に関するさまざまな手法のうち、より効果的で適切な手法をモデル的に検証)
- ・認知症自己チェックリストの作成(認知症の早期発見、早期受診を目的とした自己チェックリストを作成し配付)

(2) 早期発見・早期治療

- ・認知症ケアパスの作成(認知症のステージにあわせて利用できる地域の社会資源(ケアパス)を作成し配付)
- ・認知症疾患医療センターの運営支援(鑑別診断、急性期治療等を実施する医療機関の指定と助成)
- ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成(連携の推進役のサポート医、患者を診療するかかりつけ医を養成)

(3) 本人・家族支援

- ・キャラバン・メイトの養成・活動支援(認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトを養成)
- ・認知症サポーターの養成(認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーター等を養成)

・事業の成果と課題

指標の達成度

認知症を理解するための啓発事業実施とともに、認知症の高齢者が地域の中で生活するための支援者を養成することで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めた。これまでの認知症に対する正しい知識の普及啓発などに加え、「早期発見・早期治療」「予防・重度化防止」「本人・家族支援」などに重点的に取り組んだ。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・認知症講演会の開催や認知症サポート医、キャラバン・メイトなど認知症施策に関わる人材育成の事業を委託し、その活動を支援した。
- ・認知症施策推進事業費負担金(県負担金)を充当し、財源更生を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・認知症対策モデル検証を平成28年度から介護保険事業特別会計で実施する。
- ・「認知症疾患医療連携協議会」を平成26年3月に立ち上げ、医療・介護・福祉等のさまざまな関係機関とのネットワークづくりを進め、認知症疾患の早期発見・早期対応、適切な医療と介護サービスが提供できる体制整備を構築する。

・事業の分類

大分類

細分類

補助シート

(事業名) 認知症施策推進事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
43	<ul style="list-style-type: none"> モデル検証 チェックリストの作成 ケアパスの作成 医療センター運営支援 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 キャラバン・メイトの養成・活動支援 サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> チェックリストの配布 ケアパスの配付 医療センター運営支援 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 キャラバン・メイトの養成・活動支援 サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> チェックリストの配布 ケアパスの配付 医療センター運営支援 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 キャラバン・メイトの養成・活動支援 サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> チェックリストの配布 ケアパスの配付 医療センター運営支援 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 キャラバン・メイトの養成・活動支援 サポーターの養成

事業シート (事業名) 外国人高齢者福祉手当支給事業

◇事業目的・事業対象

公的年金を受給できない外国人高齢者に対し福祉手当を支給し、福祉の増進を図る。

◇事業の概要

下記の支給要件すべてを満たす方に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給する。

- ① 浜松市に住民として登録をし、1年以上継続して浜松市に在住している者
- ② 出入国管理及び難民認定法による永住許可を受けている者
- ③ 厚生年金その他公的年金を受給していない者
- ④ 国民老齢基礎年金の所得条件に準ずる経済状況にある者
- ⑤ 昭和8年4月1日以前に生まれた者

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市外国人高齢者福祉手当規則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	3,300	3,036
	決算	2,926	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	2,926	3,036
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
支給人数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	26	23			26
実績値	23				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

下記の支給要件すべてを満たす方に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給する。

- ①浜松市に住民として登録をし、1年以上継続して浜松市に在住している者
- ②出入国管理及び難民認定法による永住許可を受けている者
- ③厚生年金その他公的年金を受給していない者
- ④国民老齢基礎年金の所得条件に準ずる経済状況にある者
- ⑤昭和8年4月1日以前に生まれた者

・事業の成果と課題

指標の達成度

下記の支給要件すべてを満たす方に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給した。

- ①浜松市に住民として登録をし、1年以上継続して浜松市に在住している者
- ②出入国管理及び難民認定法による永住許可を受けている者
- ③厚生年金その他公的年金を受給していない者
- ④国民老齢基礎年金の所得条件に準ずる経済状況にある者
- ⑤昭和8年4月1日以前に生まれた者

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

誕生日を支給要件の一つとしているため、支給対象者は年々減少しており、支給対象者が居なくなるまで制度は継続する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

誕生日を支給要件の一つとしているため、支給対象者は年々減少しており、支給対象者が居なくなるまで制度は継続する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

高齢者の健康保持、増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的として開催される全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ浜松市選手団を派遣する。

◇事業の概要

政令指定都市については、国の要綱により選手の選考・派遣を行うことが規定されていることから、全国健康福祉祭浜松市実行委員会を組織し、選手選考・派遣等の業務を行う。

<開催予定(決定分)>

平成28年度:長崎県 平成29年度:秋田県 平成30年度:富山県 平成31年度:和歌山県

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	—	一般会計	自治事務(法令義務)	全国健康福祉祭開催要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	11,414	15,063
	決算	7,270	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	7,270	15,063
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		3,500	1,400
人工	正規	0.5	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
開催種目における派遣種目の割合(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100	100			100
実績値	88				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

政令指定都市については、国の要綱により選手の選考・派遣を行うことが規定されていることから、全国健康福祉祭浜松市実行委員会を組織し、選手選考・派遣等の業務を行う。

<開催予定(決定分)>

平成27年度:山口県 平成28年度:長崎県 平成29年度:秋田県 平成30年度:富山県

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

政令指定都市については、国の要綱により選手の選考・派遣を行うことが規定されていることから、全国健康福祉祭浜松市実行委員会を組織し、第28回全国健康福祉祭やまぐち大会への選手選考・派遣等の業務を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

平成27年度は、派遣選手数の減(151人→145人)があったが、派遣旅費単価の増額(栃木県→山口県)があり、事業費は前年度とほぼ同程度であった。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / 事業費 拡大 人工 縮小

平成28年度から実行委員会事務局機能を委託化し、正規職員(0.5人工)の人工の削減を図る。

・事業の分類

大分類 補助・助成

細分類 負担金・拠出金

事業シート (事業名) 養護老人ホーム入所事業

◇事業目的・事業対象

経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な者を養護老人ホームへ入所措置し、入所者が自立した日常生活を営むことができるようにする。

◇事業の概要

老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させ、市は施設に対して地域区分や施設規模に応じた措置費を支払う。

負担金は、本人の収入に応じた額を算定し、本人から徴収する本人分と、入所前に親族が本人を扶養していた場合は、主たる扶養義務者として所得から負担金額を算定して徴収する扶養義務者分の二通りがある。

市内 6施設 定員420人
 組合立 1施設 定員50人
 その他市外施設有り

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38	—	一般会計	法定受託事務	老人福祉法、浜松市老人福祉法施行細則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,006,422	965,450
	決算	912,170	
	国・県支出		
	市債		
	その他	169,056	170,719
	一般財源	743,114	794,731
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市内施設入所定員合計数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	420	420			420
実績値	420				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させ、市は施設に対して地域区分や施設規模に応じた措置費を支払う。

負担金は、本人の収入に応じた額を算定し、本人から徴収する本人分と、入所前に親族が本人を扶養していた場合は、主たる扶養義務者として所得から負担金額を算定して徴収する扶養義務者分の二通りがある。

市内 6施設 定員420人
組合立 1施設 定員50人
その他市外施設有り

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させ、市は施設に対して地域区分や施設規模に応じた措置費を支払った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な者を保護し、自立への支援をするため、事業を実施した。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 縮小 人工 現状

・経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な者を保護し、自立への支援をするため、引き続き事業を継続する。

・平成28年度は、措置者見込数の減(△248人 H27:5,388人 → H28:5,140人)に伴い扶助費を減額する予定。

・事業の分類

大分類 事業推進

細分類 福祉支援

事業シート (事業名) 老人福祉施設支援事業

◇事業目的・事業対象

経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な高齢者が入所する養護老人ホームの運営を支援し、円滑な運営と入居者への適切な処遇を図る。

◇事業の概要

<養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)>
 加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行う。

<養護老人ホームとよおか管理組合負担金>
 養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市養護老人ホーム入所者処遇改善事業費補助金交	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	21,436	21,436
	決算	17,270	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	17,270	21,436
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
助成対象施設数(か所)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	7	7			7
実績値	7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

＜養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)＞

加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行う。

＜養護老人ホームとよおか管理組合負担金＞

養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

＜養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)＞

加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行った。

＜養護老人ホームとよおか管理組合負担金＞

養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目

小項目

/

事業費

人工

・経済的事情や家庭環境などにより、居宅での生活が困難な高齢者を措置入所させる養護老人ホームにおいて、加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障害者の受入れの円滑化を図った。

・磐田市、浜松市、森町の2市1町で構成される一部事務組合「養護老人ホームとよおか管理組合」で設置運営している「養護老人ホームとよおか」に対する支援を目的として、負担金の支出を行った。

今後の方向性

大項目

小項目

/

事業費

人工

・養護老人ホームの施設のあり方について、利用規模や待機者数、必要性について調査研究を進め、将来的な存続や廃止を検討していく。

・特に、「養護老人ホームとよおか」に関しては、一部事務組合構成市町において検討する必要がある。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 老人福祉施設整備費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

在宅での生活が困難な高齢者の生活場所を確保するため、老人福祉施設の整備を推進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.44】

特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進する。

【特別養護老人ホーム】 ※平成28年度整備施設

- ・(仮) (福) 晃仁会 (仮) 湖東の杜 90床創設 + ショートステイ10床
- ・(福) 三和会 (仮) 宇布見砂丘寮 70床創設 + ショートステイ10床
- ・(福) 七恵会 浜松中央長上苑 30床増設 + ショートステイ10床
- ※平成28～29年度整備施設
- ・(福) 奥山老人ホーム (仮) 奥山老人ホーム 70床創設 + ショートステイ10床

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	—	一般会計	自治事務(その他)	老人福祉法、介護保険法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	534,500	369,000
	決算	804,500	
	国・県支出		
	市債	705,400	245,900
	その他		
	一般財源	99,100	123,100
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		8,400	9,100
人工	正規	1.2	1.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
特別養護老人ホームの定員(人)				—	44
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	4,137	4,486	5,000		5,000
実績値	4,137				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				Ⅲ-3(2)ア	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	266	177			0
実績値	409				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.44】

特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進する。

【特別養護老人ホーム】

- ・(福)藤花幸寿会 藤乃花 90床創設 + ショートステイ10床
- ・(福)公友会 三方原の里 80床創設 + ショートステイ20床
- ・(福)白梅福祉会 白梅下石田ホーム 40床増設 + ショートステイ20床
- ・(福)慶成会 グリーンヒルズ東山 50床増設
- ・(福)ほなみ会 南風 60床増設

・事業の成果と課題

指標の達成度

特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進した。

【特別養護老人ホーム】(平成28年4月開設予定 ※南風は、7月開設予定)

- ・(福)藤花幸寿会 藤乃花 90床創設 + ショートステイ10床
- ・(福)公友会 三方原の里 80床創設 + ショートステイ20床
- ・(福)白梅福祉会 白梅下石田ホーム 40床増設 + ショートステイ20床
- ・(福)慶成会 グリーンヒルズ東山 50床増設
- ・(福)ほなみ会 南風 60床増設

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成26年度から補助金額提案制導入による単価の削減に伴う補助金額の減額を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成26年度から導入した補助金額提案制による単価の削減に伴う補助金額の減額を引き続き図る。

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000 16

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 老人福祉施設整備費助成事業(補助金)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
44	特別養護老人ホーム整備床数 349床	特別養護老人ホーム整備床数 250床	特別養護老人ホーム整備床数 250床	

事業シート (事業名) 老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

社会福祉法人の老人福祉施設整備に伴う借入金の元利償還金の一部を助成し、安定した運営と施設福祉サービスの充実を図る。

◇事業の概要

合併前の浜北・天竜・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行う。

- | | | |
|-------|-------------|-------------|
| (浜北) | ・(福)大善福祉会 | 多喜の園(特養増築) |
| | ・(福)天竜厚生会 | しんぱらの家(特養) |
| | ・(福)聖隷福祉事業団 | 浜北愛光園(特養増築) |
| (佐久間) | ・(福)さくま | さくまの里(特養) |

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	H37	一般会計	自治事務(その他)	浜松市社会福祉施設整備償還費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	21,683	18,458
	決算	21,682	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	21,682	18,458
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

合併前の浜北・天竜・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行う。

(浜北)	・(福)大善福祉会	多喜の園(特養増築)
	・(福)天竜厚生会	しんぱらの家(特養)
	・(福)聖隷福祉事業団	浜北愛光園(特養増築)
(天竜)	・(福)天竜厚生会	やまびこデイサービスセンター
(佐久間)	・(福)さくま	さくまの里(特養)

・事業の成果と課題

指標の達成度

合併前の浜北・天竜・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行った。

(浜北)	・(福)大善福祉会	多喜の園(特養増築)
	・(福)天竜厚生会	しんぱらの家(特養)
	・(福)聖隷福祉事業団	浜北愛光園(特養増築)
(天竜)	・(福)天竜厚生会	やまびこデイサービスセンター
(佐久間)	・(福)さくま	さくまの里(特養)

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・合併調整方針により、償還補助等の継続している事業については、同じ条件で継続することとした。旧市町村事業の引き継ぎ措置であり、対象事業の償還が終了し次第廃止とする。
・平成27年度償還終了予定(天竜厚生会:やまびこデイサービスセンター)

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・合併調整方針により、償還補助等の継続している事業については、同じ条件で継続することとした。旧市町村事業の引き継ぎ措置であり、対象事業の償還が終了し次第廃止とする。
・平成28年度償還終了予定(さくま:さくまの里)

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 高齢者住宅改造助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

在宅の高齢者が安全で安心して日常生活を送れるように、住宅設備を改造することにより高齢者の自立の助長やその家族介護者の負担の軽減を図る。

◇事業の概要

60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者が、住宅を改造する場合の費用の一部を助成する。

【対象者と助成額】

- 対象者① 市民税非課税の世帯
- 助成額① 工事費(対象経費)の3分の2以内で、75万円を限度
- 対象者② 市民税課税で前年分の所得税額が20万円以下の世帯
- 助成額② 工事費(対象経費)の3分の1以内で、75万円を限度

【対象となるもの】

既存住宅の居室・浴室・便所・台所・玄関・廊下等を高齢者の生活に適するように改造するための経費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H7	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者住宅改造費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	26,000	20,000
	決算	14,328	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	14,328	20,000
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
申請(助成)件数(件)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	40	50			
実績値	40				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者が、住宅を改造する場合の費用の一部を助成する。

【対象者と助成額】

- 対象者① 市民税非課税の世帯
- 助成額① 工事費(対象経費)の3分の2以内で、75万円を限度
- 対象者② 市民税課税で前年分の所得税額が20万円以下の世帯
- 助成額② 工事費(対象経費)の3分の1以内で、75万円を限度

【対象となるもの】

既存住宅の居室・浴室・便所・台所・玄関・廊下等を高齢者の生活に適するように改造するための経費

・事業の成果と課題

指標の達成度

60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者が、住宅を改造する場合の費用の一部を助成した。

【対象者と助成額】

- 対象者① 市民税非課税の世帯
- 助成額① 工事費(対象経費)の3分の2以内で、75万円を限度
- 対象者② 市民税課税で前年分の所得税額が20万円以下の世帯
- 助成額② 工事費(対象経費)の3分の1以内で、75万円を限度

【対象となるもの】

既存住宅の居室・浴室・便所・台所・玄関・廊下等を高齢者の生活に適するように改造するための経費

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成27年度から補助率を見直し、市・県民税非課税世帯以外の世帯については、2分の1から3分の1に変更した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成28年度以降も市・県民税非課税世帯以外の世帯については補助率を3分の1とし、平均助成額の減に伴い予算額を減額する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート

(事業名) 低所得者高齢者等住まい・生活支援モデル事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域において、心身の状況や地理的な理由、経済的理由等により自立した生活を送ることが困難な高齢者が住み慣れた地域の拠点エリアで安心して継続的に暮らせるよう、空き家等の活用による住居の確保や日常生活上の支援など、地域における支援体制を構築する。

◇事業の概要

- (1) 支援対象 心身の状況等により現在の居宅での生活が困難な低所得高齢者等
- (2) 実施箇所 天竜区龍山町地内を予定
- (3) 事業内容 ・支援ネットワーク整備(地区社協、高齢者相談センター、民生委員、NPO、サービス事業所などの地域団体)
 - ・生活実態の調査による対象者の把握
 - ・移転支援(空き家情報等の収集、改修、相談、入居支援など)
 - ・生活支援(定期的な訪問による見守り、家事支援など)
- (4) 委託先 社会福祉法人

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	H30	一般会計	自治事務(その他)	低所得者高齢者等住まい・生活支援モデル事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		5,106
	決算		
	国・県支出		5,106
	市債		
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			700
人工	正規		0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / 事業費 現状 人工 現状

「低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業」は平成26年度に国庫補助事業として創設された。平成28年度事業が採択されれば委託による事業を実施する。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 福祉支援

事業シート (事業名) 番号制度対応・システム再構築事業

◇事業目的・事業対象

在宅福祉サービス等の運用に使用している「高齢者福祉システム」について、システム改修を行い、番号制度及び介護保険法改正に対応するもの。

◇事業の概要

(1) システムの名称
 新高齢者福祉システム(現行の高齢者福祉システムと敬老祝金システムの統合)
 (2) システムの概要
 <高齢者福祉システム>
 市民台帳管理、決裁処理、施設入所管理、実態把握取込処理、介護保険事業(地域支援事業管理)、在宅福祉サービス管理、介護予防健診管理、地域高齢者調査管理、口座振替管理、地域包括支援システムとの連携、取込処理、マスタ管理
 <敬老祝金システム>
 市民台帳管理、新規対象者管理、異動対象者管理、自治会情報管理、送付先情報管理、マスタ管理

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H28	一般会計	自治事務(その他)	番号法、個人情報保護法、介護保険法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		155,600
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		155,600
	一般財源		
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	2,800
人工	正規	0.1	0.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

(1) システムの名称

高齢者福祉システム

(2) システムの概要

市民台帳管理、決裁処理、施設入所管理、実態把握取込処理、介護保険事業(地域支援事業管理)、在宅福祉サービス管理、介護予防健診管理、地域高齢者調査管理、口座振替管理、地域包括支援システムとの連携、取込処理、マスタ管理

(3) 更新を要する業務

- ①地域支援事業管理のうち、生活管理指導員派遣事業、生活管理指導短期宿泊事業の実績管理に関する部分
- ②在宅福祉サービス管理のうち、軽度生活援助員派遣事業の実績管理に関する部分

・事業の成果と課題

指標の達成度

不明

番号制度及び介護保険制度改正対応のための改修費用を予算措置していたが、対応不要となった。(H27年度2月補正において減額補正:9,923千円 → 0円)

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

改修が不要になったため、事業実施をしなかった。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 ICT化 / 事業費 拡大 人工 現状

新システムの構築にあたり、既存のシステムを統合し、パッケージシステムとして再構築を行う。

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 システム管理

事業シート (事業名) 高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	3,289	2,918
	決算	2,444	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	2,444	2,918
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		700	1,400
人工	正規	0.1	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 01 01 01 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 運営経費(諸経費のみ)

政策シート

(政策名) 超高齢社会への対応

(予算費目名) 介護保険事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	1,127,945	1,242,508
決算	1,001,271	
人件費(A)	32,620	52,500
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,033,891	1,295,008

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
健康寿命の延伸 ※厚生労働省 発表 健康寿命	歳	男74以上女77以上	目標 実績	男74 女77 —	男74 女77
			目標 実績		
			目標 実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

第7次浜松市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27~29年度)の初年度として、計画に掲げた政策及び重点施策を着実に推進することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	介護保険事業	○	○	○		1,295,008	1,242,508	6.1			3.5	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,295,008	1,242,508	6.1			3.5	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 介護保険事業

◇事業目的・事業対象

高齢者が地域で自立した生活を送ることができるよう、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」のサービスが切れ目なく一体的に提供される「地域包括ケアシステム」づくりを推進する。

◇事業の概要

- ・介護保険運営経費(新総合事業事前調査)
 【重点戦略項目 No.56】
- ・介護予防事業(二次予防事業及び一次予防事業の実施)
 介護予防推進事業、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング教室事業、ロコモーショントレーニング事業、訪問型介護予防事業、生活管理指導員派遣事業、生活管理指導短期宿泊事業、介護予防サービス対象者把握事業、自立体力診断事業(H28臨時事業)
- 【重点戦略項目 No.41】【重点戦略項目 No.42】
- ・包括的支援事業(地域包括支援センターを委託方式で設置運営し、総合相談支援業務等の実施)
 地域包括支援センター運営事業、認知症施策推進事業、生活支援体制整備事業(H28新規事業)、在宅医療・介護連携推進事業(H28～政策体系の変更)
- ・任意事業(高齢者及び高齢者を介護している家族を支援する事業等の実施)
 家族介護継続支援事業、在宅高齢者家族等紙おむつ支給事業、家族介護慰労金支給事業、シルバーハウジ

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	—	特別会計	自治事務(法令義務)	介護保険法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,127,945	1,242,508
	決算	1,001,271	
	国・県支出	460,833	575,633
	市債		
	その他	347,107	437,730
	一般財源		
	一般会計繰入金	193,331	229,145
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		32,620	52,500
人工	正規	4.3	6.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.9	3.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
ロコモーショントレーニング実参加者数(人)				Ⅲ-3(3)ア	56
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,500	5000	12,500	15,000	15,000
実績値	2,639				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
介護予防事業延実施人数(人)					—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15,200	15,300			16,000
実績値	18336				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
地域包括支援センター総合相談件数(件)					41
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	32,200	32,400	32,800		35,000
実績値	35525				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
認知症地域支援推進員養成人数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	7	7	7		3
実績値	7				

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・介護保険運営経費(新総合事業事前調査)

【重点戦略項目 No.56】

・介護予防事業(二次予防事業及び一次予防事業の実施)

介護予防推進事業、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング教室事業、ロコモーショントレーニング事業、訪問型介護予防事業、生活管理指導員派遣事業、生活管理指導短期宿泊事業、介護予防サービス対象者把握事業

【重点戦略項目 No.41】

・包括的支援事業(地域包括支援センターを委託方式で設置運営し、総合相談支援業務等の実施)

地域包括支援センター運営事業、認知症施策推進事業

・任意事業(高齢者及び高齢者を介護している家族を支援する事業等の実施)

家族介護継続支援事業、在宅高齢者家族等紙おむつ支給事業、家族介護慰労金支給事業、シルバーハウジング等入居者安心確保事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・介護保険運営経費(新総合事業事前調査)

・介護予防事業(二次予防事業及び一次予防事業の実施)

介護予防推進事業、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング教室事業、ロコモーショントレーニング事業、訪問型介護予防事業、生活管理指導員派遣事業、生活管理指導短期宿泊事業、介護予防サービス対象者把握事業

・包括的支援事業(地域包括支援センターを委託方式で設置運営し、総合相談支援業務等の実施)

地域包括支援センター運営事業、認知症施策推進事業

・任意事業(高齢者及び高齢者を介護している家族を支援する事業等の実施)

家族介護継続支援事業、在宅高齢者家族等紙おむつ支給事業、家族介護慰労金支給事業、シルバーハウジング等入居者安心確保事業

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・介護保険事業特別会計の地域支援事業である介護予防事業・包括的支援事業・任意事業の各事業を実施した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部委託 / 非常勤・再任用 事業費 拡大 人工 拡大

・介護保険事業特別会計の地域支援事業である介護予防事業・包括的支援事業・任意事業の各事業を実施する。

・高齢者数の増加に伴い、事業の必要性が高まり、拡大する傾向にあるため、委託化や事務体制の見直しを図る。

・事業の分類

大分類 事業推進

細分類 福祉支援

平成28年度

(管理番号)

05 01 01 03 01035000 01

(担当課)

高齢者福祉課

(責任者)

小松 靖弘

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 介護保険事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
56	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数2,500人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数5,000人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数10,000人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数12,500人
41	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務 三職種専門職員による 相談体制の強化	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務